

2022.9.29 (木)
第12回例会
(通算3681回)

2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で』

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2022-2023 年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度
R1会長 ジェニファー・ジョーンズ
第2500地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	基本的教育と識字率向上月間
本日のプログラム	全道中学親善硬式野球大会報告会 (担当：青少年奉仕委員会)
次週例会	職場訪問例会「本行寺の歴史と有形文化財登録にむけて」(担当：職業奉仕委員会)

- ロータリーソング：奉仕の理想 ■ ソングリーダー：瀧波 大亮君
- 会員数 104名
- ビジター なし
- ゲスト 釧路リトルシニア球団 代表理事 中山 浩治様

会長の時間

滝越 康雄会長



お食事の方はそのままお続けください。

ロータリー関係の報告事項としては、9月24日に分区の会長・幹事会がありまして、行事予定が発表になりました。お手元に届いたと思います『ハロウィンのジャック・オー・ランタンを作ろう』という行事です。150名定員ですが、子どもにとっても人気がありますから、お早めにお申し込みください。

10月24日に『ポリオキャンペーン』を、FMくしろで放送予定です。これもお聞きくださればと思います。来年の話ですが、皆さんには「IM」と言ったら2月か3月のイメージがあると思います。美馬ガバナー補佐の考えで、寒い時期は皆さまに迷惑かけるだろうということで、「ゴールデンウィーク明けの5月13日にIMを開催」ということで、白糠らしい楽しいイベントで皆さんをおもてなしの予定でおります。この日程が発表されましたので手帳にご記入ください。

そして5月27日がマスターズゴルフ、6月4日が交通安全を含めたパークゴルフ大会、という分区行事も盛りだくさんです。日程を漏らさないようにご協力ください。よろしくお願いいたします。

それと、ロータリーでいうと9月が『識字率向上月間』ですが、もう2～3日前の間際になって申し訳ないのですが、このテーマで話を用意しようと思ったのですが、本がいっぱいあり探し出せないの、後日、月間とは関係なく歴史上の識字率の問題を拾って皆さんのお耳に入れたいと思います。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

■ 本日のプログラム ■ 全道中学親善硬式野球大会報告会

青少年奉仕委員会 田中 弘明副委員長



青少年奉仕委員会・田中です。よろしくお願いいたします。

全道中学親善硬式野球大会の報告をさせていただきます。まずは大会の様様をVTRにまとめましたのでそちらをご覧ください。よろしくお願いいたします。

(VTR上映)

青少年奉仕委員会 田中 弘明副委員長

続きまして、釧路リトルシニア球団・橘幸司監督からコメントが届いております。代読させていただきます。

す。
吉田大委員長、よろしくお願いいたします。

代読 吉田 英一委員長



それでは、代読いたします。

本日は準決勝での敗退の弁明をさせていただきたいところでしたが、残念ながら出席できず申し訳ありません。

私からの伝言として、参加チームが増えることで、他チームも本気でよりレベルの高い大会になっていくのではないかとことを皆さまにお伝えできれば幸いです。

今後ともよろしくお願いいたします。釧路リトルシニア球団・橋幸司様。

ご挨拶

釧路リトルシニア球団代表理事 中山 浩治様



皆さま、こんにちは。私は釧路リトルシニア球団代表理事の中山です。本日は例会にお招きいただきありがとうございます。

7月30・31日、2日間開催されました全道中学親善硬式野球大会の報告をさせていただきます。

今年は全道各地から10チームに参加していただき、工業高校と湖陵高校の2つのグラウンドで試合が行われました。決勝にコマを進めた小樽、日高の両チームが決勝戦にふさわしい試合をしていただきました。今回は延長9回までやっていただいてタイブレークで、5対2で小樽が優勝することになりました。先ほど監督からもメッセージがあったように、釧路は小樽に敗れて3位という結果になりました。去年は優勝させていただいたのですが、まだまだ努力をしながら優勝を目指して頑張りたいと思います。

この大会を通じて、チームワーク・挨拶・集中力・感謝する心・考える力を学び、大会を素晴らしい思い出に、子どもたちはしております。指導者・選手たちからは「この大会を楽しみにしています」と何度も言われております。本当に毎年、この大会を開催していただき釧路ロータリークラブの皆さまには深く感謝申し上げます。ありがとうございます。来年の開催もぜひよろしくお願いいたしますと思います。

去年・今年と入団する子どもたちが少なかったため、3年生が卒業すると人数は10名になってしまいます。

今年の6年生に来年入ってもらうためにスタッフ・監督、いろいろな方の協力をいただいて選手確保に努めてまいります。もし皆さま、誰かおりましたらぜひ紹介していただきたいなと思います。本当にありがとうございました。

青少年奉仕委員会 田中 弘明副委員長

中山理事、ありがとうございました。続きまして、本日欠席の東堂委員長より、熱い思いを預かってまいりましたので代読させていただきます。

2009-2010年度、釧路ロータリー主管で始まりまして全道中学硬式野球大会も第12回目を迎え、去年はコロナの影響のため道東のチームでの開催でしたが、今年度は全道から総勢10チームの参加で大成功の大会となりました。

3月中旬に前年度青少年委員長の佐藤さんより「そろそろ動かないと間に合いませんよ」との言葉があり、さっそく会場の確保に動きました。

リトルシニア側の日程も「今年は7月30・31日しか空きがない」ということで、この日程で釧路市民球場に連絡したところ、すでに湿原マラソンの日程が組まれており、予約が取れない事態に陥りました。

これはまずいということで、昨年大変お世話になった釧路工業高校の中村監督にご挨拶に伺い、その日程は大丈夫とのことで快諾をいただきました。しかし、今年は当初から8チームから10チームの出場がほぼ確定していたこともあり、もうひとつの会場を借りないといけなかった状況でした。

そこで今まで借りたことのない湖陵高校の野球部長を、知り合いの方に紹介をいただき、面談の機会を得ることができました。実際、部長さんにお会いしてみると、湖陵高校のグラウンドのファースト側に近年は住宅がたくさん建設され、ファールボール用ネットも低いということで、「ファールボール対策として試合中、役員を住宅側に配置するなら貸してもいい」という条件でお借りすることができました。しかも、工業高校の目と鼻の先の湖陵高校を借りることができたので選手や役員・親御さんの移動距離や時間も短縮することができ、感謝の思いでいっぱいです。

そして迎えた7月30・31日は好天に恵まれ、特に日曜日の準決勝・決勝では、釧路らしからぬ30度を超える炎天下で、応援に駆けつけていただいたロータリーアン皆さんの熱中症を心配するくらいの天候でした。

釧路リトルシニアは残念ながら準決勝で敗れてしまいましたが、決勝戦は小樽リトルシニア対日高リトルシニアが延長タイブレークになる熾烈ないいゲーム展開をし、最後は小樽リトルシニアが優勝となりました。大会の運営を無事故ですべてを担って下さった釧路リ

トルシニアの中山さんをはじめ関係者、役員の皆さまに改めて感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

また、来年度以降も継続・発展的にこの大会を支援・協力をしていきます。

会長謝辞 滝越 康雄会長

先生には野球大会で大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

野球大会のシーンもさることながら、私は始球式に向けて1カ月、投球練習をしていました。取り壊し中の建物に向けて1日15～16球は投げた結果、それだけが自分の役目だと思ってホッとしました。

この野球大会はますます盛んになっていくと思います。関係者の皆さま、よろしくご協力ください。以上でございます。

本日はお話をありがとうございました。

会員卓話 滝越 康雄会長



残り時間で退席者を出したくないので、いろいろな話を用意しましたので最後までよろしく願います。

私、本が好きなのでこの『逆説の世界史』を見ているうちに、海底ケーブルを敷くシーンがイラストで出てきたのです。それが1851年の話で、イギリスがドーバー海峡に海底ケーブルを敷いたのです。日本は徳川家慶の時代です。1841年は前の将軍の徳川家斉が亡くなったのですが、この将軍が53人の子どもをなして、みんなを嫁さんに出したり、養子に出したり、てんやわんやしているお殿様の時代なのです。私はこれに興味を持ったのは、片方は最先端の海底ケーブル、日本はお殿様の時代、この比較がすごく面白くて、今日の話の構成もイギリスの通信の話、日本のその時の通信手段の話、最後は時間が余れば大英帝国の話をしたと思います。

イギリスでは1850年代に鉄道はどんどん伸びて1万2000キロまで伸びていました。その連絡のために電信が普及しました。大西洋にケーブルを敷くということで、アメリカ対イギリスの競争が始まってきました。1950年に最初にケーブルを敷いたのですが、タールで固めたケーブルだったので、漁師が藻と間違えて誤って切断して、これは使い物にならなかつたらしいです。その後、タールに代わってマレーシアのゴムが出てきて、水圧に耐えるようになってきて、そこで1851年にドーバー海峡海底ケーブルが完成です。当時はベルの電話がまだ完成していませんでしたの

で、モールス信号で行っています。1853年に、イギリスのドーバー海峡、ベルギー・オランダ・ドイツと海底ケーブルで結ばれている状況です。

1857年はペリーが来航した時代、1858年には正式にきちっとした海底ケーブルでオーストラリア・フランスにも電話線が入っていました。1865年に稼働しています。1865年というとまだ『安政の大獄』ということで、日本はバタバタしている時代です。1872年に、シンガポール・ホンコン・オーストラリア・ニュージーランドと通信網がつながりました。

海底ケーブルを使ってモールス信号で通信をして、1876年にはベルの電話で国際電話をしていたわけなのです。

一方、日本は江戸時代中期には、大阪で米相場というのがあり、米で給料なども出していました。ところが、地方の米相場の状況も分からないのです。相場ですから紀伊国屋文左衛門が色の付いた旗を通信手段として取り入れ、米相場の伝達を旗振りで行ったのです。飛脚と旗振りで伝達して、これが河内・播磨・摂津、これ以外はみんな旗振りで通信が始まっております。昼は旗で、夜は松明（たいまつ）で、旗の感覚で振っています。だいたい3里半から5里半、大体22kmで受け継いで米相場の情報など流すわけです。これ意外と早いのです。時速720kmだそうです。大阪～和歌山間は、旗を降って相場を伝えるのに3分です。大阪～京都4分、大津までは5分、大阪～神戸は7分、大阪～岡山は15分。広島までは27分、江戸は箱根がありますので飛脚を使って1時間10分。現実的に1981年に「本当か」ということで実験をしたそうです。大阪～岡山間は2時間で連絡が届いた、と。旗は「右に横上げて二振りで値段が上がった」。「右横下で2回振って、下がった」。「5銭の相場であったら立てて・・・」、7銭だったらなど、いろいろなサインを何百キロもつないでつないで、という通信手段だったのです。

今の時代、町内会の回覧板だったら1週間かかりますね。ロータリーのメールだって2週間かかっていると思います。やっぱり江戸時代の通信網というのは早かったのだなという気がします。時速720kmということはものすごいことだと思います。

そして、大英帝国の話になります。先刻、女王が亡くなられて国葬が終わった時期ではありますが、大英帝国の移り変わりです。昔は植民地でどんどん輸出をして儲かっていたのですが、それが1850年代になると、だんだん儲からなくなってきたのです。海運、輸送することと海上保険・いわゆるロイズと通信事業、海底電線を使っての事業がすごく儲かってきて、あとは貿易利益、要は作ったり、売ったりしないで、通信を中心に情報関係で儲かってきたのはイギリスです。この本に書いてありますけれど、これは今の時代に

なって2011年にガラッと変わって、グーグル社がイギリスの情報機関の大邸宅を買収して、そこを記念館にしたのです。要は、イギリス政府の暗号解読学校の建物を買った。1939年にはナチスの暗号を解読し、その時にはコンピュータができていて、政府機関が作った暗号通信用のソフトや施設を今のグーグル社が利用して活用しています。要は、世界中の情報が集まってきた、日本の情報などはバレバレみたいでしたね。こういうのも、海底電線とかで情報が得意なイギリスの話ということですね。

最近でも情報が得意ですから、『MI6』はジェームス・ボンドが活躍する機関、保安局は『MI5』、特殊作戦執行部が『SOE』。今でもこれは、世界を後ろで牛耳っている情報機関だと思います。

ルーツをたどれば植民地だ、海底ケーブルだ、が原点になっているのです。やっぱり大英帝国がまだ生きているのだなど、本を読んで感じました。

以上で第1幕が終わりです。

全く別の話にして続けていいかどうか迷っています。理事会で以前に、あるパスト会長から「少し、保険の話をしなにか」と言われたのですが、私は長年やっていますので、ベスト10になったら凄い事件ばかりなのです。

去ること何年前、私は30代の時、自動車保険で長年付き合いのお客さんの件で、ある時に「保険料が未納だよ」と銀行からの連絡で、行ってみたら不在でした。「8月〇日で契約が切れる」、このお金を入れなかったら保険は切れるし、割引の権利がなくなってしまうから、私が「これは大変だな」と3カ月分を立て替えて2万3000円だったと思いますけど入れたのです。

次に、集金に行ったら状差しにいろいろな物が挟まっていた、本人はいない。これは引っかけたなど。ちょっと腹も立ちましたけど、その領収書を取っていただいたのです。「経済負担を被って、損したな」という8月でした。

翌年の2月、釧路新聞か道新に「釧路港の赤い灯台付近で1台の車が引き上げられ、その中に夫婦の死体が入っていた」と。それが保険料未納のお客さん夫婦だったのです。

元々、漁師だったのでこれが事件性を帯びてきて、過失か自殺かを決めないといけなわけです。当時のお金で1,500万円か2,000万円が絡んでいる話なのですが、警察とやり取りした中で、車はマニュアル車で、ギアがセカンドに入っていたということです。警察の説明では、「自殺の時はローからやるものだ。セカンドに入ってから一回転して入ったのだろう」と。そういう海中転落の事件を覚えています。

場面が変わって、半年後にそういう事件が出てきたものですから、いまだに記憶していて、遺族には感謝されました。というユニークな事件でありました。この話はプライバシーも絡んでいないし、もちろん亡くなられた方なので、1つのエピソードとしてオープンできるところを話しました。

私の実力はそこまでです。以上です、ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 池田 一己君 先週の例会でノロック号のボールペンを少し余裕に頂きました。ありがとうございます。
- 木下 正明君 3年ぶりにお祭り、ひがし北海道釧路女相撲国際大会がお陰様で無事開催されました。
- 青田 敏治君 ナユタの会、今年2回目の優勝をしました。
- 瀧波 大亮君 昨日、妹の単行本2巻が発売されました。

今年度累計 99,000円